

医学研究に関する情報公開および 研究協力へのお願い

福井大学医学部附属病院歯科口腔外科では、福井大学医学系研究倫理審査委員会の承認および医学系部門長の許可を得て、下記の医学研究を実施しています。

こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や利用目的の詳細など研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

福井大学医学部附属病院歯科口腔外科

【研究課題名】

死亡時CT検査画像にもとづくパノラマX線類似画像による個人識別法の開発に関する検討

【研究期間】

2019年4月1日～2020年3月31日

【研究の意義・目的】

災害や核家族化および高齢化の進展のため、身元不明遺体が警察などにより発見されることは少なくありません。特に大きな災害においては、ご遺体が複数に及ぶため、正確な個人識別が故人および遺族にとって重要となります。現在は、警察や警察協力歯科医によるデンタルチャートおよび口腔内写真が個人識別に用いられることが多いのですが、死後硬直による開口障害やデンタルチャートが手書きであることなど、問題点も多いです。一般の歯科医院でも撮影可能なパノラマX線写真は、歯列や歯科治療跡、顎骨形態、顎骨病変な

ど、多くの情報を提供します。身元不明遺体においてパノラマ X 線写真と同様の画像が構築され、歯科関係者に公開されることは迅速な身元判明に寄与するものと考えられますが、パノラマ X 線撮影は立位でのみ撮影が可能であることから、死後の撮影は困難です。

本研究では、福井大学病院歯科口腔外科を受診した患者さんの CT 検査画像を用いて、パノラマ X 線写真類似画像の構築方法、および、その画像の精度を検討します。これらの画像構築法に有用性が認められた場合は、ご遺体の CT 検査画像を用いて、パノラマ X 線写真類似画像の構築を試みます。

【研究の内容】

1 研究の対象となる方

歯科口腔外科の患者さんで、2014年4月1日から、2019年3月31日の間に、パノラマ X 線検査および CT 検査を受けた方
生前、歯科口腔外科でパノラマ X 線検査を受けた方で、当院オートプシーイメージングセンター(以下、Ai センター)で、2019年4月から 2020年3月31日の間に、死後 CT 検査を受けた方

2. 研究に用いる試料・情報

診療の過程で取得された患者背景:性別、生年月日、身長、体重、手術歴、歯科治療歴、画像検査目的とパノラマ X 線検査所見、CT 検査所見、死因

なお、研究成果は研究費助成機関や学会、雑誌等で発表されますが、個人を識別できる情報は削除し、公表しません。また、取り扱う試料・情報は厳密に管理し、漏洩することはありません。

3. 研究の方法

実験 1: パノラマ X 線写真の精度の評価(①~③)

実験 2: 歯科治療跡のない患者を対象とした CT 検査画像をもとにしたパノラマ X 線類似画像の構築および精度の評価(①~③)

実験 3: 歯科治療跡のある患者を対象とした CT 検査画像をもとにしたパノラマ X 線類似画像の構築および精度の評価(①~④)

- ① 福井大学歯科口腔外科を受診した患者を対象とし、パノラマ X 線写真と CT 検査画像を後ろ向きに収集する。
- ② CT 検査画像に対して処理を加えることで、パノラマ X 線類似画像の構築を試みる。

- ③ パノラマ X 線写真とパノラマ X 線類似画像において歯冠幅、歯根長、下顎枝長さなどを対象として比較検討し、パノラマ X 線類似画像の精度および歪みを検討する。
- ④ 歯科治療跡によるアーチファクトの発生状況を、撮影エネルギーや材質により比較検討する。

実験 4: 歯科治療跡のあるご遺体を対象とした Ai センターでの CT 検査画像をもとにしたパノラマ X 線類似画像の構築の試み

- ⑤ 実験 1、2、3 より得られた結果をもとに Ai センターでの CT 検査条件を決定する。
- ⑥ パノラマ X 線検査撮影歴のある症例を集積し、CT 検査画像を処理してパノラマ X 線類似画像の構築を試みる。

【利益相反について】

利益相反とは、外部との経済的な利益関係(資金提供など)によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか(企業に有利な結果しか公表されないのではないか)と第三者から懸念されかねない事態のことをいいます。

この研究は、特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けていないことを福井大学臨床研究利益相反審査委員会に全て報告し、利益相反状態でないと判定されています。研究を公正に遂行し、対象となる方に不利益になることや、研究結果を歪めることは一切いたしません。

【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、研究計画書及び研究の方法に関する資料に関しては、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り入手又は閲覧が可能です。その入手・閲覧をご希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

【個人情報の開示等に関する手続き】

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
《福井大学における個人情報保護について》

http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/disclosure/privacy/

【本学における研究責任者】

歯科口腔外科 講師 松田慎平

【本研究に関する問い合わせ窓口など】

○問い合わせ窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院歯科口腔外科

電話:0776-61-3111(内線 2409)

FAX:0776-61-8128

E-mail: shinpeim@u-fukui.ac.jp

○ご意見・苦情窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院医学研究支援センター

電話:0776-61-8529

受付時間:平日 8:30~17:15(年末年始、祝・祭日除く)